戦略1 ともにつくる協働のまちづくり

計画期間 平成 26 年度~ 平成 30 年度

主管部局 生活環境部 関係部局 企画政策部、教育部

めざす姿

- ●市民や各種団体など多様な団体が、魅力ある協働のまちづくりに取り組んでいます。
- ●大学や大学生と連携した、江別市ならではのまちづくりが進んでいます。

戦略を構成するプロジェクト事業費の推移

※()は他戦略との重複分

名称	決算額									
4 柳	H26年度	H26年度		H27年度		H28年度		H29年度		ŧ
1A 多様な主体が協働するまちづくり	5, 643	千円	3, 751	千円	4, 404	千円	3, 922	千円	3, 803	千円
1B 大学が活躍するまちづくり	2, 920	千円	3, 581	千円	8, 163	千円	7, 801	千円	6, 545	千円
計	8, 563	千円	7, 332	千円	12, 567	千円	11, 723	千円	10, 348	千円

※H27・28年度は完了した事業の金額も含む

戦略プロジェクト1A 多様な主体が協働するまちづくり

【プロジェクトの目標】

市民、自治会、市民活動団体、企業、大学、行政など多様な主体や高齢者をはじめとする様々な世代が、それぞれの得意分野や豊かな経験・知識等を活かし協働するためのネットワークづくり、組織づくりを促進し、協働によるまちづくり・人づくりに取り組むことで、協働の気運をさらに高め、江別市における協働推進の環境を整備します。

◆成果指標1A-1 協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合(単位:%)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
23. 1	21. 7	24. 4	23. 6	21. 7	23. 1	35. 0

◆成果指標1A-2 協働のまちづくりに参加している(したことがある)市民割合(単位:%)

初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標
38. 7	36. 8	40. 3	38. 4	36. 1	45. 3	50. 0

■成果動向(平成30年度の評価)

協働のまちづくり活動支援事業において、市民活動団体が実施した事業に対して事業費の一部を補助したほか、平成29年度に大学生との協働により作成した、自治基本条例のポイントを分かりやすく解説したリーフレットを配布するなど、協働を進めるための各種事業を実施しました。成果指標1A-1の協働によるまちづくりが進んでいると思う市民割合は横ばい、成果指標1A-2の協働のまちづくりに参加している市民割合は上昇しました。

■計画期間の取組の成果 (平成26~30年度の評価)

協働のまちづくりを進めるための意識啓発や市民活動団体に関する情報提供、まちづくりにおける市民参加の機会の充実、出前講座などを継続してきました。また、自治会役員の担い手となる人材を育成するため、えべつ地域活動運営セミナーを毎年度実施したほか、平成27年度からは、女性の自治会活動を支援するため、自治会の女性役員等による意見交換会を継続して開催しました。成果指標はいずれも目標に達していませんでしたが、市民協働推進事業の参加者数の増加などにより、成果指標1A-2の協働のまちづくりに参加している市民割合を上昇させることができました。

◇推進プログラム1A一① 協働によるまちづくり

<課題>

- 〇自治基本条例の認知度の向上
- 〇市民参加に関する意識の向上
- ○協働に関する意識の向上



<取組の概要>

- ・市民との協働により作成したリーフレット等を活用 し、条例の内容を啓発
- ・市民参加制度の周知・公表
- ・小学生・中学生に向けた協働意識の啓発、併せて保 護者への波及効果

事務事業	指標		H28年度	H29年度	H30年度	備考	
協働を知ってもらう啓発事業	啓発を受けた小学生		1,000 人	908 人	一 人		
	啓発を受けた中学生		1, 059 人	1, 039 人		H30から指標を	
	協働の理解が進んだ学	校の割合	_	_	97 %	変更	
		事業費	1,018 千円	714 千円	689 千円		

◇推進プログラム1A-② 協働を担う人づくり

<課題>

- ○高齢者の知恵や経験の世代間継承
- 〇自治会加入率の向上
- 〇活動意識の向上
- 〇自治会役員の担い手となる人材の育成
- 〇自治会や市民活動団体との協働事業の進展

<取組の概要>

- ・協働を担う人材を育成するためのセミナー等を開催
- ・自治会活動員の開拓(えべつ地域活動運営セミナー 女性意見交換会の開催)
- ・自治会活動の手引きの作成
- ・職員を対象に協働の意識啓発等を目的とした研修を 実施
- ・市民活動の担い手を育成するためのセミナー等を開 催

事務事業	指 標		H28年度	H29年度	H30年度	備考
市民協働推進事業で実施 事業への参加者数		した協働	328 人	450 人	991 人	
	市民協働推進事業で実施した協働 事業への参加団体数		69 団体	98 団体	93 団体	
		事業費	3, 244 千円	3, 144 千円	3, 060 千円	
	セミナー参加者数		74 人	40 人	-	
自治会活動等支援事業	セミナーが今後の地域活 つと思った人の割合	動に役立	_	_		H30から指標を 変更
		事業費	142 千円	64 千円	54 千円	

◇推進プログラム1A-③ 協働に取り組むための組織づくり

<課題>

- 〇市民協働に関する情報発信を強化
- 〇自治会と市民活動団体双方の情報共有

<取組の概要>

- ・自治会活動と市民活動団体の協働事業を推進するた め、自治会活動及び市民協働に関するホームページ
- ・自治会等を対象とした市民活動団体による出前講座 の整備と普及・啓発

事務事業	指標		H28年度	H29年度	H30年度	備考
	市民協働推進事業で実施した協働 事業への参加者数		328 人	450 人	991 人	
市民協働推進事業【重複】1A-②	市民協働推進事業で実施した協働 事業への参加団体数		69 団体	98 団体	93 団体	
		事業費	一 千円	一 千円	— 千円	



戦略プロジェクト1B 大学が活躍するまちづくり

【プロジェクトの目標】

江別市の特性として市内に4つの大学があり、これらの大学及び学生が、それぞれの得意分野を活かして、地域課題の解決やまちの活性化のために、様々な分野で活躍するまちづくりを進めます。

◆成果指標1B-1 大学及び学生等との連携事業数(単位:件)

•	***************************************				•			
	初期値	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標	l
	28	32	34	34	37	39	35	l

■成果動向(平成30年度の評価)

学生地域定着自治体連携事業による学生の地域活動への参加や、大学の自主公開講座をえべつ市民カレッジとして市民に提供するなど大学や学生と多様な連携を行ってきました。成果指標1B-1の大学及び学生等との連携事業数は、平成29年度より増加しています。

■計画期間の取組の成果 (平成26~30年度の評価)

従前から継続している、大学教員の調査研究や学生の地域活動に関する事業報告会などを通じて、その成果の 浸透を図ってきたほか、学生地域定着自治体連携事業等を通じて、大学・学生と企業や地域住民との多様な連携 が生まれました。また、市内4大学等と連携した「えべつ市民カレッジ」により、市民の学習ニーズや地域課題 に対応した学習機会が充実しました。これらにより成果指標1B-1の大学及び学生等との連携事業数は、目標 を上回ることができました。

◇推進プログラム1B-① 大学の得意分野を活かした地域の活性化

<課題>

- 〇大学と地域、企業との連携促進
- 〇大学連携補助金を利用した研究の有効活用



<取組の概要>

- ・地域と大学との連携を促すため、大学の教員が地域 (自治会や企業等)で行う出前講座の実施を支援
- ・研究成果を市政に反映させるため、未来戦略や市政 の課題に関する研究に対し助成

事務事業	指 標		H28年度	H29年度	H30年度	備考
大学版出前講座支援事業	出前講座参加者数		248 人	289 人	232 人	
		事業費	40 千円	0 千円	0 千円	
	補助事業本数	•	5 件	5 件	5 件	
大学連携調査研究助成事業		事業費	2, 721 千円	2, 893 千円	2, 640 千円	

◇推進プログラム1B-② 知的資源である大学が持つ力を活かした教育・人材育成の促進

<課題>

- 〇地域を創造する人材を育成するための多様な学 習機会の提供
- 〇大学や関係団体との連携による事業内容の充実 と周知方法の工夫



<取組の概要>

- ・ふるさと江別塾や大学自主公開講座等を「えべつ 市民カレッジ」として総合的に提供
- ・学びの成果を実感でき、市民の参加意欲の向上が 図られるための方策を実施
- ・自治会回覧、広報えべつ等による周知

事務事業	指 標		H28年度	H29年度	H30年度	備考
えべつ市民カレッジ(四大学等 えべつ市民カレッジ講座		座数	120 講座	155 講座	191 講座	
連携生涯学習講座)事業		事業費	1, 458 千円	1, 208 千円	194 千円	

◇推進プログラム1B-③ 学生の力を活かしたまちづくり

<課題>

- ○学生の力を活かしたまちづくりの促進
- 〇地域のイベントへの学生の参加 〇広域的視点による市内大学生の地域定着



<取組の概要>

- ・学生の力をまちづくりに活かすために、地域活動 やまちづくりに資する学生の活動に対する支援、 補助等
- ・学生のボランティア活動を支援 ・市内大学と他自治体や関係団体とが連携し、大学 生の知的資源の活用に対して地域、企業等での受 入れをマッチング

事務事業	指 標		H28年度	H29年度	H30年度	備考
	補助事業本数		6 件	4 件	6 件	
大学連携学生地域活動支援事業	補助事業申請件数		_	_	6 件	H30から指標を 追加
		事業費	327 千円	297 千円	412 千円	
	市内の地域活動等に参加した延 ベ学生数		482 人	569 人	445 人	
学生地域定着自治体連携事業	参加者のうち市内へ就業・定住 した者の人数		_	_	4 人	H30から指標を 追加
		事業費	3, 617 千円	3, 403 千円	3, 299 千円	